

鍼灸科

灸実技 4

対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	0
担当教員	安齋勉			実務経験	有	職種	鍼灸師				

授業概要

学生が前期で獲得したお灸の技術を踏まえ、実際の臨床の現場や患者に対応できるような治療法を学ぶことを目的とする。取穴の正確性、スピードも合わせて身に付ける。深谷灸法の奥深さを理解することも目的とする。基礎技術が鈍らないことも目的とする。自分の体にたくさんのお灸を様々な同級生にすえられることにより、自分の技術との違いを確認することにより、競争意識が芽生え、さらなる技術の向上を目的とする。

到達目標

①深谷灸法の特徴が理解できる。②各疾患ごとの特徴を理解し、対応したお灸法を行う。③課題の経穴の取穴法と手際よく行える手順を調べ、考えてきたことが確認できる。④時間制限を設けることで予習の振り返りができる。⑤竹筒を使った基礎練習は毎回必ず行い、スピード、ひねりの硬さなどの確認作業を行う。

授業方法

毎回の5分間竹筒を使った、基礎練習は必ず行い、ここで自身のひねりの硬さも確認する。深谷灸法で紹介されている、各疾患の特徴を話す。各疾患の特効穴が書いてあるシートに、調べてきた取穴、治療イメージを30分で交互にやらせる。毎回の反省点を課題とともに提出させ、コメントと合わせ返却し、スキルアップを図る。

成績評価方法

期末試験を中心に平常授業での態度、課題提出状況などを加味して評価する。

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

教科書教材

東洋療法学校協会指定教科書

回数	授業計画
第1回	深谷灸法について。呼吸器疾患
第2回	呼吸器疾患2（気管支炎、喘息）
第3回	消化器疾患（胃疾患）

鍼灸科

灸実技 4

第 4 回	消化器疾患（腸疾患）全身施灸（30分以内）
第 5 回	運動器疾患全身施灸（30分以内）
第 6 回	神経痛全身施灸（30分以内）
第 7 回	目、耳疾患全身施灸（30分以内）
第 8 回	口腔、鼻疾患全身施灸（30分以内）
第 9 回	婦人科疾患全身施灸（30分以内）
第 10 回	小児科疾患
第 11 回	進級認定実技試験の練習
第 12 回	奇穴全身施灸（30分以内）
第 13 回	奇穴 2 全身施灸（30分以内）
第 14 回	ペア同士で体調に合わせた治療
第 15 回	総合練習